

## 決議案 提案理由説明 経済農林委員会

経済農林委員会委員長 宮崎県西米良村長

黒木 定藏

私からは三つの決議案について、ご説明申し上げます。

第一に決議案の七番目、「農林漁業の振興による農山漁村の再生・活性化を図ること」についてであります。

農林漁業の振興は、食料の安全保障や国土の維持など、国の根幹に関わる問題です。それを支えているのは、持続可能な農山漁村です。

農山漁村が元気で活力にあふれていることが、我が国の将来のためにも極めて重要であります。

第二に決議案の八番目、「田園回帰の時代を拓き、都市と農山漁村の共生社会を実現すること」についてであります。

近年、定・移住による田園回帰の増加や、「関係人口」の重要性がとらえられております。都市と農山漁村に暮らす人々が互いに関わることを通じて、共生する社会を実現することは、地域づくりのみならず、多様な生き方を支援するとともに、さらなる農山漁村の価値創生のためにも、一層重要になってまいります。

第三に決議案の九番目、「農林漁業者が将来に希望を持てるよう、米国とのＴＡＧ協議は毅然とした姿勢で臨むとともに、ＴＰＰ・日欧ＥＰＡ対策に万全を期すこと」についてであります。

ＴＰＰや日欧ＥＰＡの発効、さらには米国とのＴＡＧ協議の内容によっては、小規模農家や中山間地域の農業に影響を及ぼすことが懸念されております。農林漁業に従事する人々が、安心して生産活動に勤しみ、農山漁村での豊かな暮らしが維持できるよう、万全の対策が必要であります。

以上、三つの決議案について、町村長各位の満場のご賛同を賜りますようお願い申し上げます。提案理由の説明といたします。